

認 定 書

国住指第 3088 号
令和 3 年 1 月 21 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣

赤羽



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-1149

2. 認定をした構造方法等の名称

ケーブル・電線管・給水管・排水管／ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材・膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂水酸化アルミニウム系シール材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材・膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂水酸化アルミニウム系シール材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ160mm以下)
	面積	0.0202m ² 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル・配管の断面積の総合計の割合)		55.2%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、ケーブル・配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
充てん材① (耐熱シール材)		材料	梱包材付ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材
		使用箇所	蓋金具の内周部分
	梱包材	仕様：あり又はなし	
		材料	
	充てん材	厚さ	
		材料	ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材
		形状	パテ状
		密度	
		組成 (質量%)	
		使用量	蓋金具の形状に合わせて隙間が無いよう密に充てん (床上面から40mm以上)
充てん材② (熱膨張性耐熱シール材)		材料	膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂・水酸化アルミニウム系シール材
		形状	パテ状
		密度	
		組成 (質量%)	
		使用箇所 (使用量)	蓋金具及び充てん材①の内側に隙間が無いよう密に充てん(ケーブル・配管の周囲、床上面から40mm以上)

表3 ケーブル・配管の仕様

項 目		仕 様				
ケーブル (電線)	導体 (又は芯線) の断面積	1本あたり	38mm ² 以下			
		総合計	159. 5mm ² 以下 (銅等の金属類)			
	総有機量	0. 660kg/m以下				
	導体 (又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質				
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	1. 2mm以下		
		塩化ビニル系				
		EPR (エチレンプロピレン系)				
	介在 (円形に調整する充てん材)	紙、ジュート、ポリプロピレン、又はなし				
シース	ポリエチレン系	厚さ	1. 7mm以下			
	塩化ビニル系					
	ポリオレフィン系					
	合成ゴム					
配管等 (電線管・配管・給水管・排水管・さへ管・挿入管・配管等の種類)	合成樹脂製可とう電線管 (CD管、PF管) (JIS C 8411)		外径	厚さ	PF管 φ 36, 5mm以下 CD管 φ 42mm以下	—
	銅管 (JIS H 3300、JIS H 3320)				φ 53. 98mm以下	2. 8mm以下
	鋼管 (JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、 JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、 JIS G 3460)				φ 48. 6mm以下	7. 1mm以下
	ステンレス鋼管 (JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)				φ 48. 6mm以下	7. 1mm以下
	被覆付可とう塩化ビニル管 外層・内層：ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層：ポリエチレンフォーム				φ 37mm以下	6mm以下
被覆材 (あり又はなし)	発泡ポリエチレン系		96mm以下 (仕上り外径)		20mm以下	
	発泡架橋ポリエチレン系					
	発泡ポリウレタン系					
	発泡ポリスチレン系					
	発泡ポリプロピレン系					
	発泡フェノール系					
	発泡シリコン系					
	発泡難燃ポリオレフィン系 (酸素指数28以上)					
	グラスウール (JIS A 9504)					
	ロックウール (JIS A 9504)					
	発泡合成ゴム系 (ニトリル、ブチルゴム系)					
使用方法	必要に応じて、配管 (銅管、鋼管、ステンレス鋼管) に厚さ 20mm 以下の被覆材を用いる					

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目	仕 様	
蓋金具	材料	鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	本体 厚さ0.8mm以上、高さ40mm以上 保持材(充てん材①の保持部品) 厚さ0.8mm以上、6箇所以下(数量は開口寸法による)
アダプター	材料	仕様：あり又はなし 鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	厚さ0.8mm以上(外径等は開口寸法による)
	使用箇所	必要に応じて、蓋金具内の充てん材脱落防止材に用いる (寸法上、配管・ケーブルを納められない場合を除き、可能な限り用いること)
留付材	材料	タッピンねじ又はコンクリートビス (鋼製又はステンレス鋼製)
	寸法	φ3.8×25mm以上
	使用箇所	蓋金具・留付金具の床面への留付用(2箇所)
ケーブル・配管等補助材	材料	仕様：あり又はなし 塩化ビニル系フィルム
	寸法	厚さ：0.2mm 以下 幅：75(±5)mm 以下 (長さはケーブル・配管全体の外周+50mm以下)
	使用箇所	充てん材②とケーブル・配管等周辺部に巻く (全体に巻き付け、単独配管等又は複数配管等に巻き付けても良い)
貼合わせ用テープ	材料	①、②又は③ ①ポリオレフィン系 ②ポリ塩化ビニル系 ③紙
	寸法	厚さ：0.2mm 以下 幅：50mm 以下 長さ：75(±5)mm 以下
	使用箇所	ケーブル・配管等補助材端部の貼合わせ箇所

5. 構造説明図：
構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm

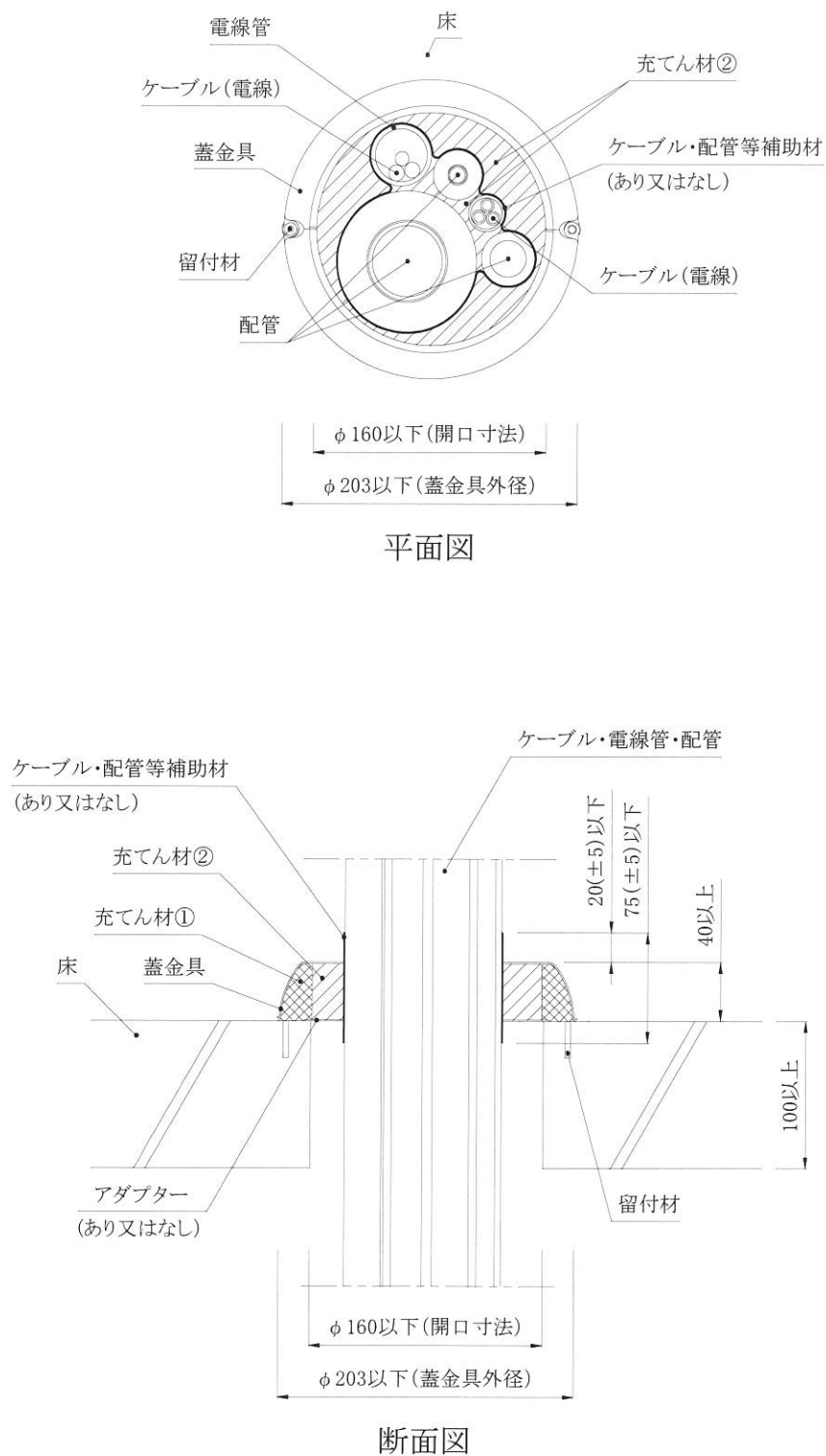
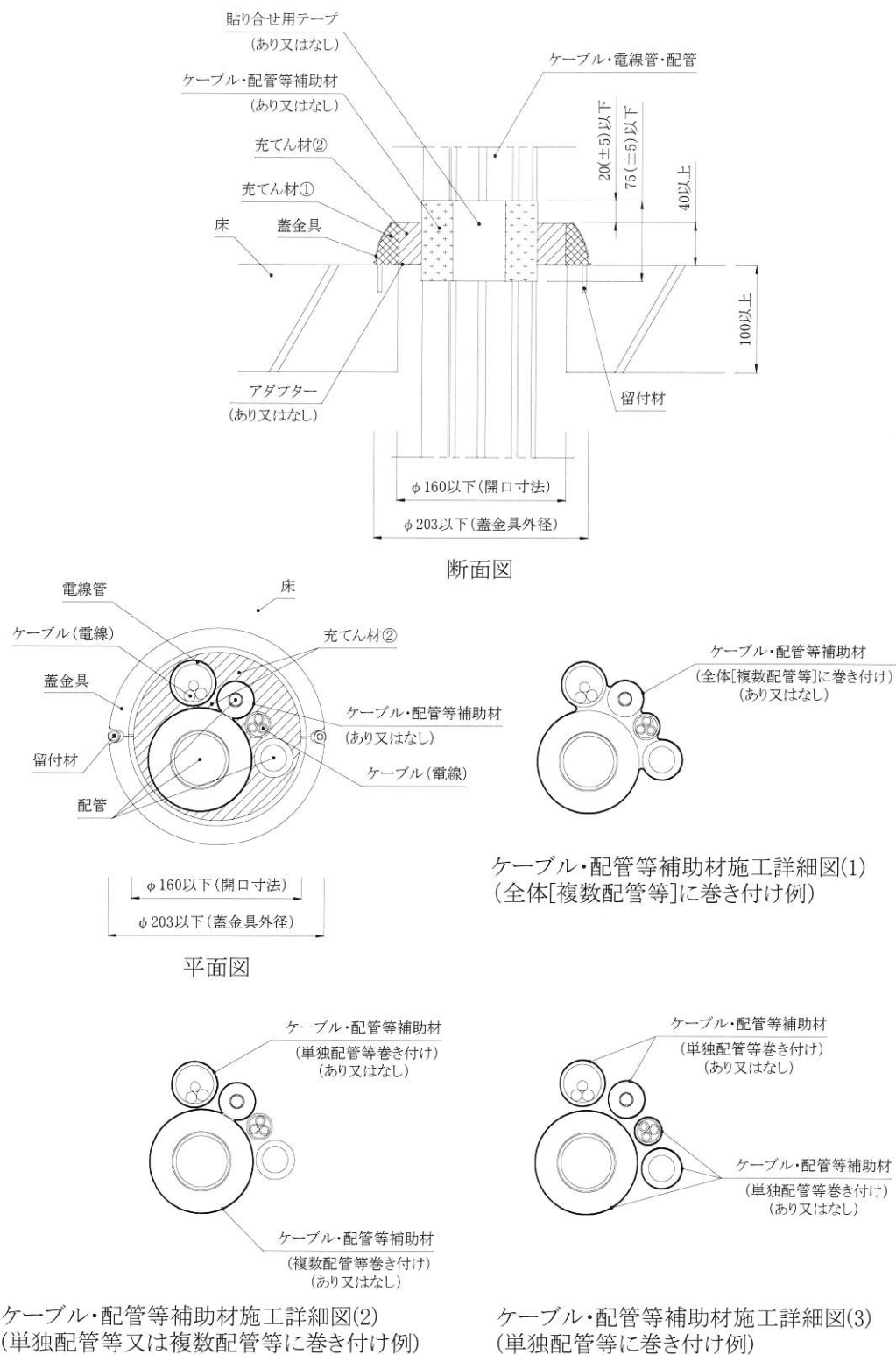


図1 構造説明図(施工図)

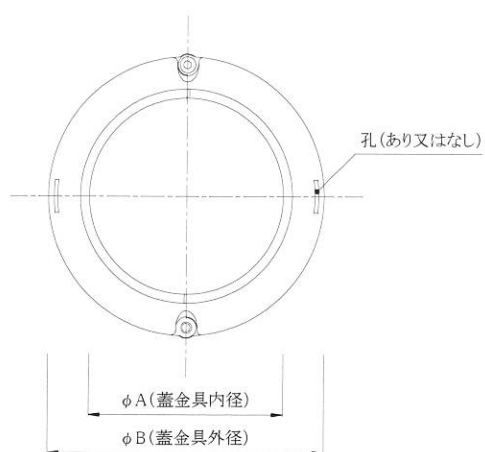
単位 mm



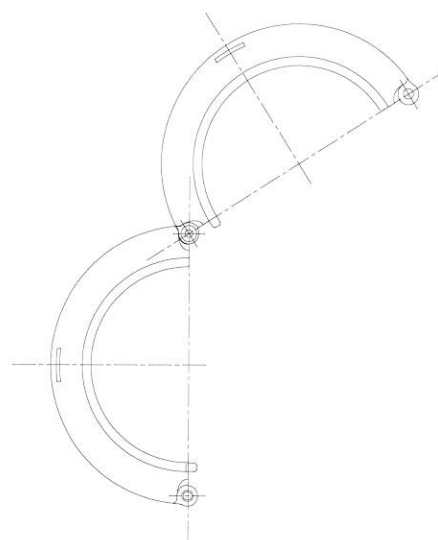
注)ケーブル・配管等補助材は、ありなし又は単管複数管巻が混在しても良い。

図2 構造説明図(施工図)

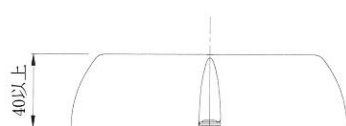
単位 mm



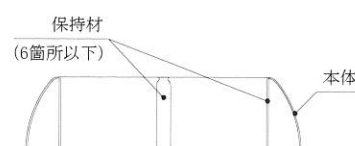
蓋金具の平面図



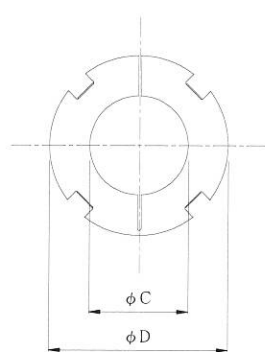
蓋金具の可動参考図



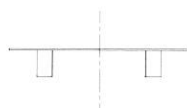
蓋金具の側面図



蓋金具(保持材)の取付例



アダプターの平面図



アダプターの側面図

蓋金具・アダプター寸法の例(標準寸法)

開口寸法	呼び	φ A	φ B	φ C	φ D
φ 55mm	50	52mm	98.5mm	—	—
φ 85mm	75	82mm	127mm	45mm	93mm
φ 110mm	100	107mm	152mm	65mm	118mm
φ 135mm	125	133mm	178mm	85mm	143mm
φ 160mm	150	158mm	203mm	105mm	168mm

図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 貫通穴の設定

ボイド管やコアドリル等を用いてφ160 mm以下の貫通穴を設ける。

(2) 配管・ケーブルの設置

配管等を設置して支持・固定し、ケーブル・配管等補助材を必要に応じて配管等に巻き、貼合わせ用テープで固定する。

なお、ケーブル・配管等補助材は、ケーブル・配管等の全体、単独配管等又は複数配管等に巻き付けても良い。

(3) 蓋金具の取付け

梱包紙に包まれた耐熱シール材 (充てん材①) 付蓋金具を開き、配管・ケーブルを金具の中に入れて込んで留付材を用いて2点以上固定する。(床上面に処置を行う)

(4) 熱膨張性耐熱シール材 (充てん材②) の充てん・仕上げ

熱膨張性耐熱シール材 (充てん材②) を全て金具の内部に密に充てんし、隙間が無く面一であることを確認し、脱落しないように仕上げる。(床上面に処置を行う)

なお、アダプターは、蓋金具内の充てん材脱落防止材であり、寸法上、配管・ケーブルを納められない場合を除き、可能な限り用いること。